

年間教授計画 2025年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
小児看護論	クラス: 2 年 G 組 学科: 医療事務科 コース: 小児クラス	山藤	①小児看護学概論②臨床医学Ⅰ③臨床医学Ⅱ	2時間/週	60時間

授業概要		先天性、遺伝性疾患をはじめ成長途上にある小児の疾患について理解する						
最終到達目標		小児の特徴の理解と疾患を知る						
月	週	単元	内容および授業方法					
前期 (4月～9月)	1	オリエンテーション 小児看護概論	・小児統計と変遷(講義) ・小児の定義(新生児・乳幼児・幼児など)(講義) ・小児の特徴と成長、発達(講義) ・小児の染色体、先天異常(講義) ・小児にみられる主な症状(講義) ・小児のコミュニケーション技術(講義適宜演習)					
	2							
	3							
	4							
	5							
	6	感染症・アレルギー疾患	・細菌感染(講義) ・ウイルス感染(講義) ・アレルギー反応について(講義) ・小児の主なアレルギー疾患(講義) ・ワクチン接種について(講義)					
	7							
	8							
	9							
	10	呼吸器疾患	・先天異常(講義) ・感染症(講義) ・肺疾患(講義)					
	11	循環器疾患	・先天性心疾患(講義) ・後天性心疾患(講義) ・不整脈(講義)					
	12							
	13	消化器疾患	・口腔疾患、食道疾患(講義) ・胃、十二指腸疾患、腸の疾患(講義) ・肝臓、胆道疾患など(講義)					
	14							
	15							
後期 (10月～2月)	1	神経、筋肉疾患	・発作性疾患(てんかんなど)(講義) ・急性疾患(講義) ・慢性疾患(講義)					
	2							
	3							
	4	腎臓、泌尿器疾患	・腎臓疾患(講義) ・泌尿器疾患(講義)					
	5							
	6	その他の疾患	・口腔疾患、耳鼻咽喉疾患(講義) ・精神疾患(講義) ・皮膚疾患(講義)					
	7							
	8							
	9	小児医療、看護の特徴	・小児医療分野(学校、在宅、保育園、学校、施設)(講義) ・多職種協働、チーム医療(講義) ・小児の救急(講義) ・外傷 ・誤嚥 ・熱中症 ・中毒 ・溺水など ・小児の医療制度(講義) ・保険、助成制度など ・小児看護の実際(講義・適宜演習) ・体温測定、内服など					
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
成績評価方法	項目 ※1							授業内試験
	割合	前期		100%				
		後期		100%				
備考 ※2								

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験／小テスト:単元ごとのテスト等／課題内容:課題提出および課題の出来具合
 その他:()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価

※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。